

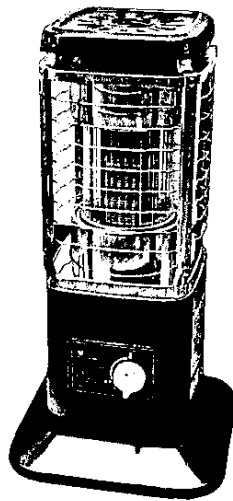


ガス 赤外線ストーブ

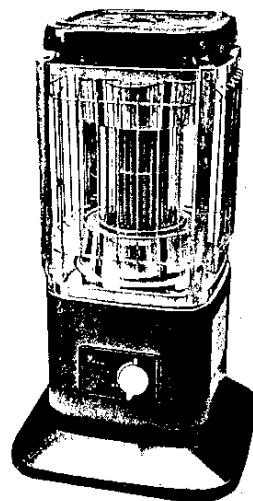
取扱説明書 42-408・42-409型

保証書付

型式の呼び GHB-382
GHB-497

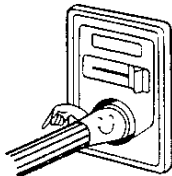


42-408型

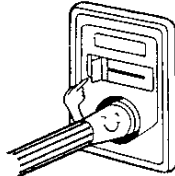


42-409型

ガス器具をお使いになる時のご注意



ガス用ゴム管も
ときどき点検
よいガス用ゴム
管をカッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉じる習慣を



30分に1回
1分間程度



ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス赤外線ストーブをお求めいただきありがとうございました。

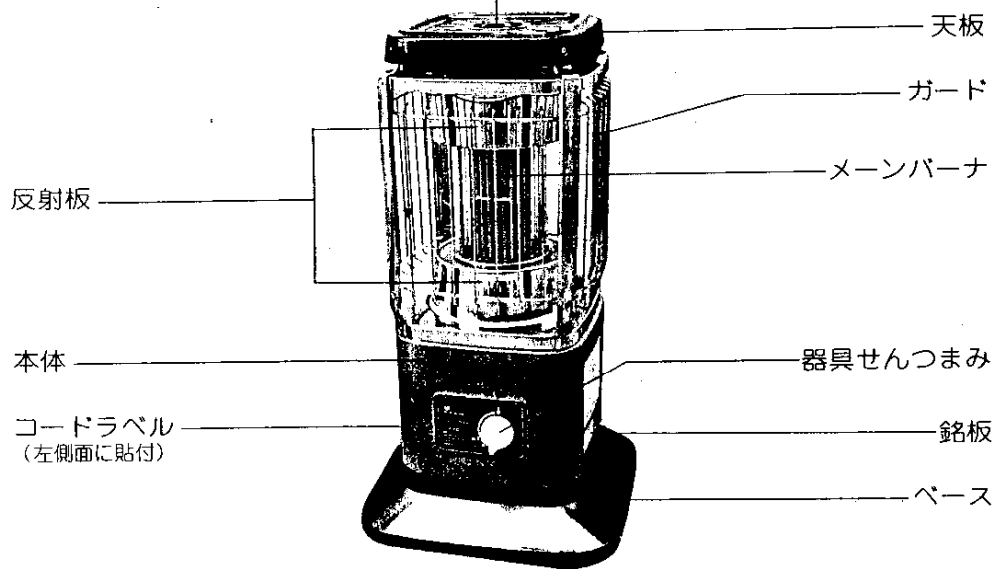
別添の保証書とともに、この取扱説明書を大切に保存してください。

も く じ

	ペ ジ
●各部の名称	1
●特に注意していただきたいこと	1～4
●器具の設置	5～6
●使用手順	6～7
●使用時の注意	7～8
●日常の点検・手入れ	8～9
●故障・異常の見分け方と処置方法	9～10
●長期間使用しない場合	11
●アフターサービス	11～12
●特 長	12
●外形寸法と仕様一覧表	13

各部の名称

変色箇所 (10ページをお読み
ください。)



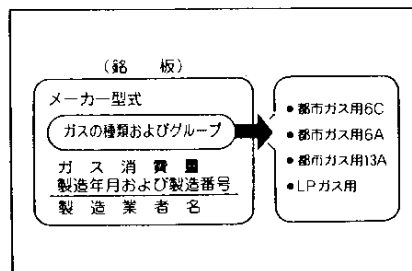
(例) 42-409型

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずよくお読みください。

使用ガスについての注意

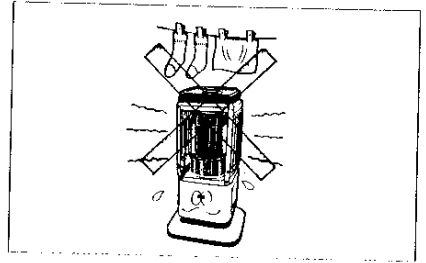
- ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の右側面に貼ってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転居されたときにも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
- 転居される場合には、部品の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。



特に注意していただきたいこと②

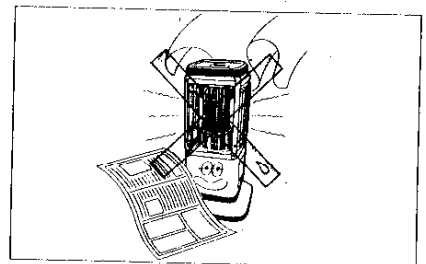
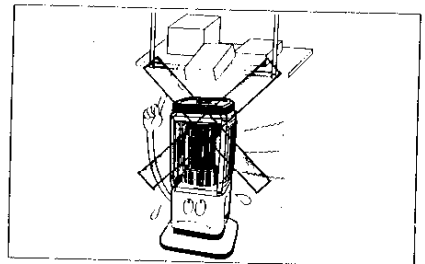
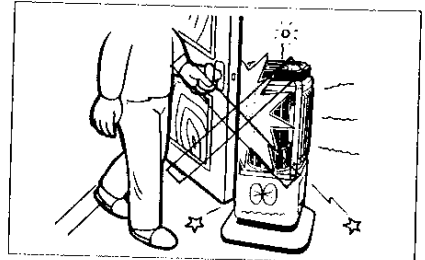
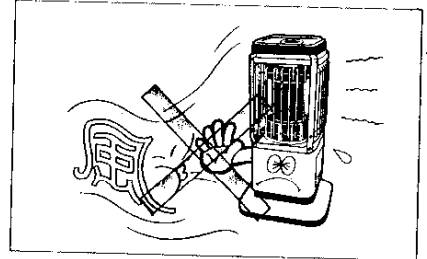
用途についての注意

- 暖房以外の用途(洗濯物の乾燥、タバコに火をつけるなど)には使用しないでください。
衣類などが落下して火がつき火災になることがあります。また、器具の異常過熱や、メインバーナの異常燃焼がおこり大変危険です。



使用場所についての注意

- 強い風の吹き込む場所では使用しないでください。
風で吹き消されることがあります。
- 部屋の出入口など人の通るところでは使用しないでください。
転倒の危険があります。
- 棚、机の下など落下物の危険があるところでは使用しないでください。
- 水がかかる場所では使用しないでください。
- 家具、壁、カーテン、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
詳しくは5ページの「器具の設置」をお読みください。
- 換気(給気・排気)が十分できるところに設置するか、換気できるようにして使用してください。
詳しくは4ページをお読みください。



設置について

- 正しく設置して使用してください。
詳しくは5～6ページの「器具の設置」をお読みください。
- 正しく設置されているか確認してください。

特に注意していただきたいこと③

使用上の注意

ガス漏れ予防

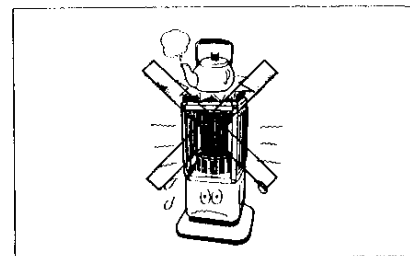
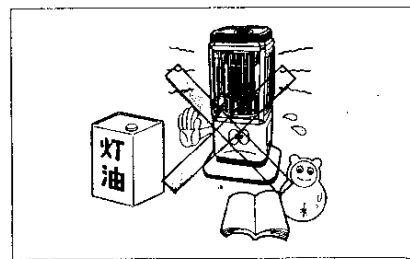
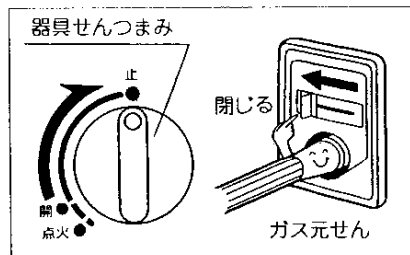
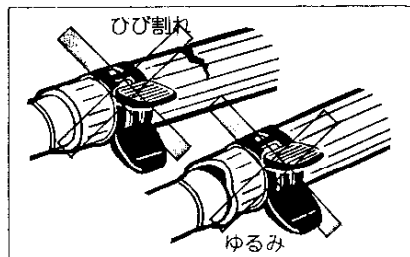
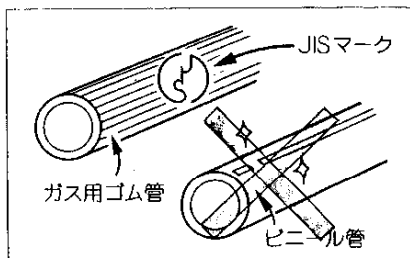
- ゴム管はガス用ゴム管(検査合格、またはJISマークの入っているもの)を使用し、ビニール管・ガスコード(強化型小口径ガスホース)は絶対に使用しないでください。
- ひび割れしたり、差込み口がゆるんでいるガス用ゴム管は必ず取替えてください。
- 使用時の点火、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 使用後は必ず器具せんつまみを閉じて消火したことを確かめてください。またお部屋のガス元せんも必ず閉じてください。
- お出かけやおやすみの際にはお部屋のガス元せんも必ず閉じてください。

火災予防

- 器具の上や周囲には紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置かないでください。特にお子様には周囲の人が注意してあげてください。
- 火のついたまま持ち運ばないでください。転倒すると危険です。
- 火をつけたまま、お出かけやおやすみは絶対にしないでください。

火傷(やけど)の注意

- 使用中および使用直後は、器具が高温になっていますので手を触れないでください。特にお子様には周囲の人が注意してあげてください。
- 器具の上には、なべやヤカンなどをのせないでください。お湯がこぼれて火が消えたり、火傷(やけど)をしたりすることがあります。



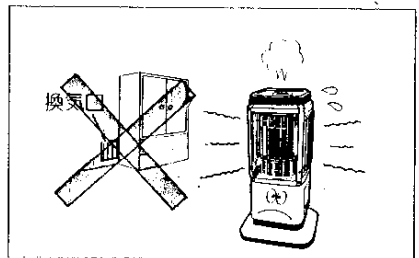
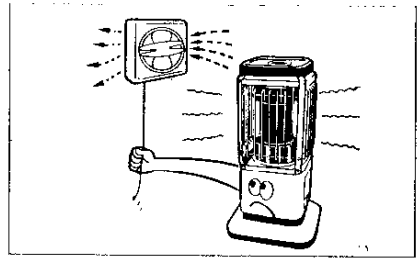
特に注意していただきたいこと④

換気の注意

- 使用中は必ず30分間に1回、1分程度窓を開けるか換気扇を回すなどして十分な換気をおこなってください。

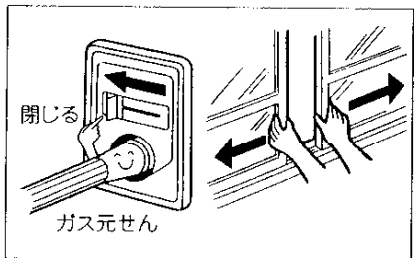
閉めきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼等異常な燃焼がおきる危険があります。

- お部屋の換気口(給気口・排気口)は常に確保し、物などでふさがないでください。



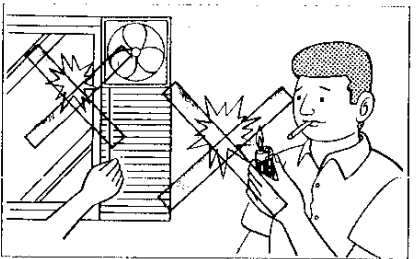
ガス事故防止

- ガスくさいときや異常燃焼による異臭のあるときはお部屋のガス元せんを閉じ、窓や戸を開けて換気を十分に行ってから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



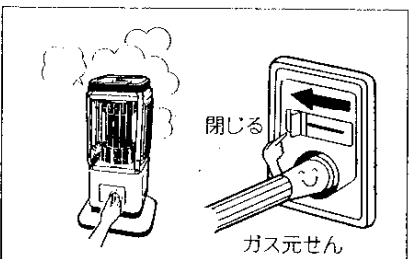
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。

火や火花で引火し爆発事故を起すことがあります。



異常時の処置

- 万一異常燃焼を起したときや、緊急の場合、直ちに使用を中止して、器具せんつまみとお部屋のガス元せんを閉じて消火してください。



器具の設置

設置前の準備と確認

梱包材料の除去

- 器具を外装箱から取出し、保護材を取除いてください。

外装箱、保護材は使用しないときに器具の保管用として使用しますので捨てないでください。

- テープを取除いてください。

使用ガスの確認

- 器具の表示ガスと、ご使用になるガスが一致しているか確認してください。

詳しくは1ページの「使用ガスについての注意」をお読みください。

設置上の注意(設置状態の確認)

- 器具の周囲および上方1 m以内に家具建具などのない位置を選んでください。

- 器具は丈夫で水平な所に設置してください。不安定な場所での使用はしないでください。

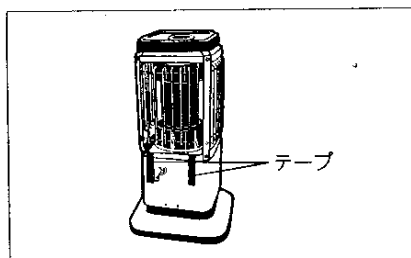
- 燃えやすいもの(毛足の長いじゅうたん、その他)の上に設置しないでください。

ガス用ゴム管の接続

- ガス用ゴム管は、ホースエンドの赤い線まで差込み、必ずゴム管止めでしっかりと止めてください。

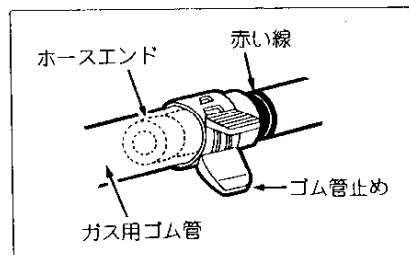
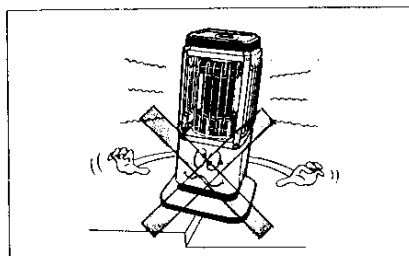
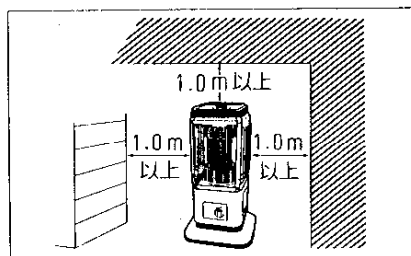
お部屋のガス元せんにも必ずゴム管止めをお使ください。

ガス用ゴム管は良質で新しいもの(検査合格、またはJISマークの入っているもの)を用い、できるだけ短く(3m未満)してください。



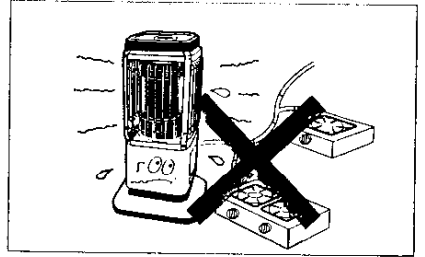
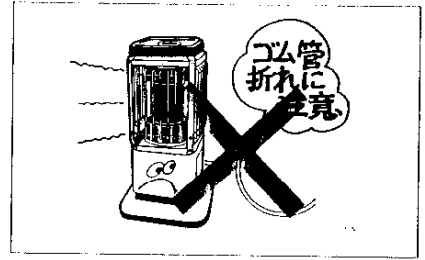
確認

ガスの種類



器具の設置②

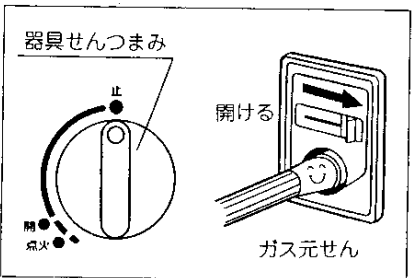
- ガス用ゴム管は、器具にふれたり、器具の下側を通さないでください。また、ガス用ゴム管が折れたまま使用しないでください。
- ガス用ゴム管は古くなりますと、お部屋のガス元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ひび割れてきます。ときどき点検して3年を目安として新しいものと取替えてください。
- ガス用ゴム管の継ぎたしや二又分岐はしないでください。
- 普段使用していないお部屋のガス元せんは、ゴムキャップを付けてください。



使用手順

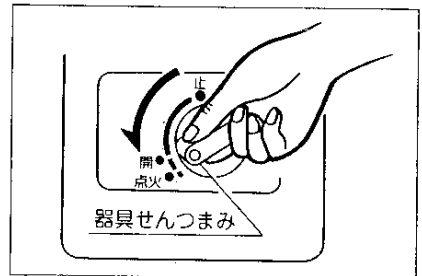
点火前の準備と確認

- 器具の上や周囲には紙、プラスチック、油類など燃えやすいものがないことを確認してください。
- 器具せんつまみが止になっていることを確認し、お部屋のガス元せんを全開にしてください。



点火

- ① 器具せんつまみを左へ(点火)の位置までゆっくりいっぱい回す。
「カチッ」と音がして点火します。
 - ② 点火しメインバーナに着火したことを確かめてからそのまま10秒程器具せんつまみを持ちつづける。
 - ③ 器具せんつまみより手を離す。メインバーナ表面が赤熱します。
- 着火しなかった場合は、点火の操作を①から繰り返して行ってください。



使用手順②

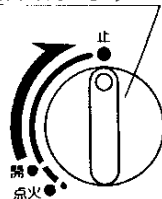
注意

- 点火の際は器具に顔を近づけないでください。
- 購入後初めて点火するときや、シーズン初めに点火するときは、ガス用ゴム管に空気が入っていて点火しないことがあります。この場合は空気が抜け、点火するまで点火の操作を繰り返し行ってください。
- 点火初期に「ブー」と音がする場合がありますが、30秒程で音はなくなります。
- この器具は、ガス量が絞れない構造になっているため、器具せんつまみを点火操作の途中で止めて手を離すと㊸の方向へ戻ってしまいます。

消火

- 器具せんつまみを㊸の位置へいっぱいもどす。
消火直後、メインバーナが「ボン」と音がしたり、1分程収縮音(チリ、チリ)がしたりしますが器具の異常ではありませんのでそのままご使用ください。
消火後30秒前後にする「コトン」という音は消火安全装置の閉じる音ですので異常ではありません。

器具せんつまみ



- ご使用後は、必ず器具せんつまみを閉じてください。また、お出かけやおやすみのときには器具せんつまみばかりでなく、お部屋のガス元せんも必ず閉じてください。

使用時の注意

使用時の注意

- お部屋の大きさにあった器具をお使いください。(13ページ「仕様」を参照してください。)
- 器具の上部に可燃物(洗濯物、その他)・ヤカンなどを置かないでください。
- ガードまわりの熱い所には手を触れないでください。また、燃焼中や消火後まだ熱いうちに移動させたりさわったりしないでください。
- 換気について
狭い部屋、閉めきった場所での使用や、長時間使用になるときはときどき窓を開ける(30分間に1回、1分程度)か、換気扇を回してお部屋の換気をしてください。
おやすみ中の使用は大変危険です。絶対にやめてください。

使用時の注意②

- ガス用ゴム管が折れたり、ガス用ゴム管を踏みつけたりしますと、逆火したり消火したりしますので十分注意してください。

安全装置について

- この器具には消火安全装置と逆火検知スイッチの2つの安全装置が付いています。これらの安全装置が働いた場合、自動的にガスが止まり、生ガスの放出を最少限におさえます。

消火安全装置

- 使用中あやまってガス用ゴム管を踏んだり、メインバーナが消えたときには、消火安全装置が働きます。

逆火検知スイッチ

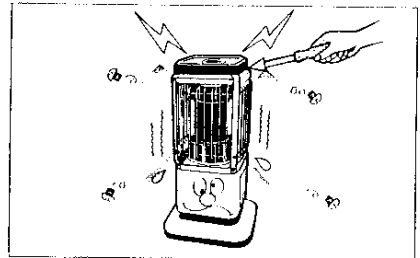
- 万一燃焼状態が悪くなり、逆火して器具が異常過熱したときは、逆火検知スイッチが働きます。

使用中に消火安全装置か逆火検知スイッチが働いてガスが止ったときは、そのままにしないで、器具せんつまみおよびお部屋のガス元せんを閉じてよく換気してください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際の注意

- 点検・手入れの前には必ずお部屋のガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行ってください。
- 分解しないでください。
消火安全装置、逆火検知スイッチおよびガスの通路部分は絶対に分解しないでください。
- 点検で異常を見つけられたときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に修理を依頼してください。



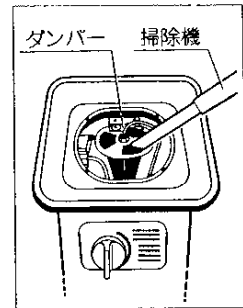
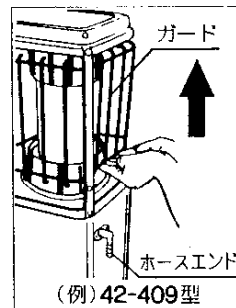
点 検

- ガス用ゴム管がひび割れしたり古くなったものは、抜けたりしてガス漏れの原因となり大変危険ですので必ず取替えてください。
- ガス用ゴム管や、ホースエンドとガス用ゴム管との接続部からガスが漏れていないかときどき石けん水などで調べてから使用してください。
- メインバーナに異常があったり、不快なおい気や目にしみるような場合はすぐ使用を中止し、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

日常の点検・手入れ②

手入れ

- メインバーナおよび反射板を掃除する際はホースエンド側のガードを持ち上げて取外してください。(42-408型も42-409型も同じ方法です。)
- 長い間ご使用になりますとダンパー部(空気取入れ部)にほこりが付着することがあります。このようなときは、掃除機で掃除してください。
- 反射板などメッキ部分は台所用中性洗剤で汚れをふきとり乾いた布でからぶきしてください。また本体やベースの塗装部分は乾いた布でからぶきしてください。ベンジンスンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。おしまいになるときは、金属部分をかるく油ぶきしてください。



故障・異常の見分け方と処置方法

長年ご使用いただいております器具、あるいは比較的短い期間ご使用の器具でも、収納の方法や場所によりましては、機能部位が損傷していることも考えられます。使用前にはもちろん、使用中に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

故障状況	原因	処置方法
1) 正しい操作で点火しない	(1) お部屋のガス元せんが閉じている。 (2) 配管、ガス用ゴム管内に空気が入っている。 (3) 点火装置の故障。	● お部屋のガス元せんを開ける。 ● 空気が抜けるまで点火操作を繰り返す。 ● お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へ連絡する。
2) メインバーナが赤熱しない。	ノズルがつまっている。	● お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へ連絡する。
3) 点火時や使用中ゴゴゴと音がする。	炎が逆火している。	● すぐに消火し、すこし間をおいて再点火する。 なお逆火する場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へ連絡する。
4) 使用中排気にいやなにおいがする。	不完全燃焼。	● すぐに使用を中止し、お部屋のガス元せんを閉じて換気し、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へ連絡する。
5) ガスのにおいがする。	ガスが漏れている。	● お部屋のガス元せんを閉じ窓を開けて換気する。 ● ガス用ゴム管の接続は十分か、確かめる。 ● 器具より漏れている場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へ連絡する。

故障・異常の見分け方と処置方法②

■ 次のような場合は故障ではありません。

現 象	説 明
塗料の焦げるようなにおいがする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 初めてお使いになるとき、器具の塗装(塗料)の樹脂分が熱により、においが出る場合がありますが、しばらく使用すると自然ににおいはなくなります。 ● 長期間使用しなかったものも、器具に付着したほこりが焦げてにおいが出る場合があります。器具を掃除してから使用するようになさってください。
器具から煙がでる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 初めてお使いになるとき、器具に付着した油が焦げて煙が出る場合がありますがしばらくすると自然に煙はなくなります。
天板中央部から見える金属の部分が変色する。(1ページの「各部の名称」を参照してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃焼による熱によって変色しますが異常ではありません。
点火直後、メインバーナから「プー」と小さな音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ● メインバーナの炎が安定するまでの30秒程「プー」と小さな音がする場合がありますが故障ではありません。自然に音は消えます。
点火、消火直後メインバーナから「チリ、チリ」と1分程音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ● メインバーナが熱により、膨張・収縮するときの音ですので故障ではありません。自然に音は消えます。
消火後30秒前後に「コトン」と小さな音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「コトン」という音は、消火安全装置が閉じる音ですので故障ではありません。
消火直後、再点火した時に「ボン」と音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ボン」と音がするのは着火する時の音ですので故障ではありません。着火後は正常に燃焼します。
<ul style="list-style-type: none"> ● なお、ご不審な点や故障のおきたとき、また部品については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。 	

長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分(ホースエンドなど)には、ほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

アフターサービス

サービス(点検・修理)を依頼される前に

- 9～10ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」を見て、もう一度確認ください。
- 確認のうえそれでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけになるときは、次のことをお知らせください。
①品名 ガス赤外線ストーブ ②コード番号(コードラベルに表示のもの)
③現象(できるだけ詳しく) ④お客様のご氏名・住所・電話番号

(例) コード番号
(4) 42-408 (U)
大阪ガス株式会社 **02**

コード番号
(4) 42-409 (U)
大阪ガス株式会社 **01**

贈答品の場合

- もよりの大阪ガス支社にご相談ください。

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガス会社、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
- この場合の調整・改造に要する費用は保証期間内でありましても有料です。
- 使用ガスグループによっては生産してないものもありますので、調整・改造できない場合があります。

保証補修について

保証について

- この器具には保証書がついています。
当社は保証書の記載内容にもとずいて修理させて頂きます。(詳細は保証書をご覧ください。) 保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保存してください。

アフターサービス②

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。
- ガスストーブの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

連絡先

- 裏表紙の住所一覧表を参照してください。

特 長

1 すばやい暖房

点火するとすぐ暖まります。これはガスストーブの特長です。
さらに、その特長を生かすため、この器具はセラミックプレート式バーナを採用しています。

2 多量の放射熱

暖かさを感じる放射熱が多量に出ます。

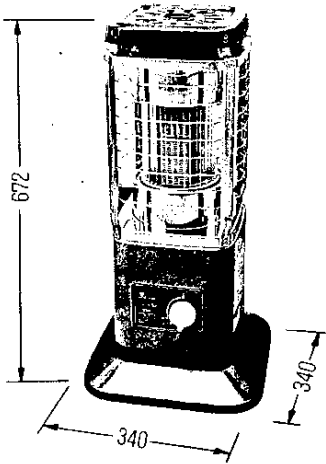
3 安全装置付

消火安全装置と逆火検知スイッチの2つの安全装置が付いています。
いずれも作動した場合、自動的にガスが止まり、生ガスの放出を最少限におさえます。

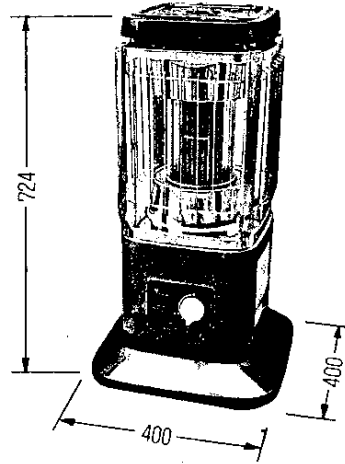
外形寸法と仕様一覧表

■外形寸法図

(単位：mm)



42-408型



42-409型

■仕様

品名		ガス赤外線ストーブ	
コード番号		42-408	42-409
型式の呼び		GHB-382	GHB-497
寸法 (mm)		高さ672×幅340×奥行340	高さ724×幅400×奥行400
重量 (kg)		約8.1	約9.9
接続 (mm)	L P G	φ9.5ガス用ゴム管	
	6A・6C・13A	φ9.5ガス用ゴム管	φ13ガス用ゴム管
ガス消費量	L P G	0.35kg/h	0.41kg/h
	6 A	4,200kcal/h	5,000kcal/h
	6 C	4,200kcal/h	5,000kcal/h
	13 A	4,200kcal/h	5,000kcal/h
暖房面積 (㎡)		18~27(11~17畳)	22~33(14~21畳)
点火方式		圧電点火式	
安全装置		●消火安全装置 ●逆火検知スイッチ	
種類	燃焼方式	表面燃焼式	
	給排気方式	開放式	
	放熱方式	放射式	

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪06(202)2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪06(652)0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪06(301)1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里町39番6号	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮0798(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内0729(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸078(576)5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-1-1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路0792(65)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡07962(3)2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒畑680の1	☎草津0775(62)3311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦根0749(22)3131
(長浜営業所)	〒526 長浜市南呉服町3番4号	☎長浜0749(62)7171

その他サービスショップ

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、お部屋のガス元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社にご連絡ください。